

「日本博2.0」基本コンセプト



※1



基本コンセプト:「日本の美と心」

縄文時代から現代まで1万年以上もの間、我が国では山や海や物も含めた万物に命が宿ると考え、それらを畏敬する「心」を文化芸術や日々の暮らしで表現してきた。

縄文土器をはじめ、仏像などの彫刻、浮世絵や屏風などの絵画、漆器などの工芸、着物などの染織、能や歌舞伎などの伝統芸能、文芸、音楽、現代アート、マンガ・アニメ、メディアアートなど様々な芸術分野に、この国の風土や日本人の自然観が反映されている。また、衣食住をはじめとする暮らし・生活様式においても、人が自然に対して共鳴、共感する「心」を具現化し、その「美意識」を大切にしてきた。

「日本博」では、縄文時代から現代まで続く我が国の文化芸術を「日本の美と心」をテーマに国内外へ発信し、多様な主体の参画と対話により、世界の多様性の尊重、普遍性の共有、社会課題の解決、経済社会の新しい成長、平和への祈りへとつながることを希求する。



※2



*1)トマ・デレーム『Légumineux 菜光ーヴェルサイユ宮殿庭園の古代種ー』展示風景 両足院(建仁寺山内)

*2)名和晃平 《White Deer (Meiji Jingu)》2020 ブロンズに塗装 Photo : Keizo Kioku

文化の力で成長を！ パワフルな「日本博2.0」でシフトアップ°

2025年大阪・関西万博へ、「日本の美と心」を発信

1. 最高峰の文化の祭典

伝統芸能、舞台芸術、音楽、メディア芸術、アートなどから厳選、国内外へ発信

2. 地域の魅力を総動員

文化×農泊×食×交通×宿×自然×スポーツ×交流×学びetc を磨き上げ
「広がり」と「奥行き」を持った真に満足出来る観光、地域のファン作り

3. 最先端のバーチャル体験

アフターコロナを見据えてリアルとバーチャルを融合、
メタバース、NFT等の先端技術を活用した、ボーダーレスで新しい鑑賞・体験

4. 若い力で未来を拓く

未来を生きる若者が参加、障害者芸術・多文化共生の推進
若者目線で、未来に持っていきたいものを創造し、鑑賞し、考える

5. ソフトパワーで日本の心を発信

海外アーティスト、文化施設等と連携して協調・交流の促進
インバウンドを含め、海外の人へ日本の美・心を伝える

2025年大阪・関西万博を機に
全国展開

「日本博2.0」の検討・実施体制及び枠組みについて

■ 検討・実施体制

日本博総合推進会議

議長：内閣総理大臣 議長代理：内閣官房長官
 議長補佐：内閣官房副長官（参）
 事業統括：文化庁長官
 その他構成員：関係閣僚等及び学識経験者

日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議

議長：内閣官房副長官（参）
 議長代理：内閣官房副長官補（内政）
 議長補佐：文化庁長官

全体統括 文化庁

企画の立案・実施
 日本芸術文化振興会
 日本博事務局

国立文化施設

地方公共団体

文化施設、芸術団体、公益法人、
 民間企業など

■ 日本博2.0事業実施の枠組み

委託型

最高峰の文化資源の磨き上げによる満足度向上事業（委託型）として国の委託費を充当して実施

補助型

多様な主体による提案型事業として補助金を交付して実施

- ・最高峰の文化資源の磨き上げによる満足度向上事業（補助型）
- ・文化資源活用推進事業 ※文化庁所管
- ・地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 ※文化庁所管

参画型

2025年の大阪・関西万博に向けて国外に発信するのにふさわしいプロジェクトや文化施設に日本博のロゴマークを付与し、日本博2.0に参画していただき、上記の日本博事業と連携して一体的なプロモーションを行う
 公募申請により認証。日本博による財政的支援は伴わない

日本博プロモーション

日本博事務局において戦略的なプロモーションを実施